
第4回 東京湾流域別下水道整備総合計画策定懇談会 議事録

日時：令和4年12月21日(水) 10:00～11:10

場所：さいたま新都心合同庁舎2号館18階DXルーム（WEB併用）

出席者：別紙参照

議事：

1. 目標負荷量（案）について
2. 目標水質（案）について
3. 目標負荷量の都県間配分（案）について
4. 合意事項（案）について
5. その他

I 議事要旨

- ・ 本日の議事について事務局案のとおり了承された。

II 議事録（概要）

(1) 目標負荷量（案）について（資料-1）

- ・ 資料について了承する。流総の枠組みでの対策は難しいと思うが、濃度が著しく高い河川については畜産や農地由来の負荷量の影響など、個別の理由を把握しておくことで下水道以外も含めた効果的な対策が可能と考えられる。（浅枝委員）
- ・ 住民へのアピール方法として、75%値のような専門用語ではなく、分かりやすい形で表現していくとよい。（浅枝委員）
- ・ 基本的なコンセプトはこれでよい。局所的な高濃度の箇所については、産業に応じて削減していくことと併せて新しい技術で将来対応する形も考えられる。（近藤委員）
- ・ 環境基準を達成できない4箇所に対しても、どのようなことが考えられるかということ懇談会の報告として残しておくことよい。今回の計算については非常に緻密な計算をしており、信頼性が高いものになっていると考える。（花木座長）

(2) 目標水質（案）について（資料-2）

- ・ 資料について了承する。都県は水質改善以外の温暖化や脱炭素に対する下水道の取り組みについても積極的に住民へアピールした方がよい。（浅枝委員）
- ・ 方向性がはっきりしており、段階的に基準を決めて対応していく進め方に同意する。（近藤委員）
- ・ 地球温暖化対策計画が昨年2021年10月に閣議決定され、下水道部門の温室効果ガス削減も求められているところであり、下水道としても毎年2%の削減という厳しい条件の中で、エネルギー効率を考へて高度処理を行える下水処理場とそうでないところを分けていくのは妥当と考える。また、エネルギー消費を減らすことによる脱炭素社会への貢献ということも報告書の中に記載し、それをPRしていくことよい。（花木座長）

(3) 目標負荷量の都県間配分（案）について（資料-3）

- ・ 資料について了承する。（浅枝委員）
-

-
- ・ このままで結構である。(近藤委員)
 - ・ 妥当と考える。(花木座長)

(4) 合意事項(案)について(資料・4)

- ・ 資料について了承する。(浅枝委員)
- ・ 内容に同意する。(近藤委員)
- ・ 内容については既に議論したことであり異論はない。(花木座長)

(5) 懇談会における確認事項について(資料・5)

- ・ 資料について了承する。(浅枝委員)
- ・ 各都県での地球温暖化による水位上昇の話と今回の検討内容に齟齬がないことを期待する。船舶負荷についてはマリナーでの対応なども変わってきており、全体的にあまり影響がないことで問題ない。(近藤委員)
- ・ 今回の計算結果は、東京湾以外の流域や下水以外の水質管理に関しても参考になり、懇談会資料として公になることで役立つものと思われる。(花木座長)

(6) その他

- ・ 全体を通じて、今回の計算では非常に緻密な計算がされており、水質管理や下水道技術を組み込んで推定するという非常に質の高いまた大規模なケーススタディになっている。これがこれからの下水道計画、水質管理、排水の管理に役立つことを願う。また、今回検討した結果が様々な場所で引用され、研究・実務の進展に役立つと確信している。(花木座長)
- ・ 今後、本日の懇談会で頂いた助言を踏まえて、基本方針の合意案に関する委員会を開催する。(事務局)

以 上
